

Service News 【サービス・ニュース】

調べもの情報コーナーができました
 場所：2Fホール (オレンジゾーン入口横)

パスファインダー(全24テーマ)や各種専門図書館のご案内など、調べものに役立つ情報を一堂に集めました。深く、専門的な調べものや情報収集にぜひ、ご活用ください!

パスファインダーとは?
 特定のテーマについて調べるときに役立つ資料やツールを紹介した「情報の道しるべ」です。

8月のデータベース講座のご案内

VOL.15「朝日新聞 聞蔵Ⅱ」8月3日(水)
 時間：12:15~13:15 / 18:30~19:30 ※講座内容は各回とも同じです。
 場所：2階 図書フロアカウンター前 ■参加費：無料

8月の専門図書館への入口講座のご案内

第6回「大宅壮一文庫」8月30日(火)
 時間：18:30~19:30 ■場所：3階 ライブラリープラス(グリーンゾーン奥)
 ■参加費：無料
 ※ともに、事前申し込みは不要、当日は直接会場へお越しください。

8月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

- 2F パープルゾーン 「通覧 江戸絵画」(~9/16)
 今年生誕300年の伊藤若冲や没後300年目にあたる尾形光琳をはじめとする、江戸時代が生んだ多彩な絵師たちを、彼らが活躍した時代背景とともに、3期に分けてご紹介いたします。
- 2F ホール 「千代田区生きものさがし2016」(~10/31)
 ■日比谷カレッジ
 「**画本 宮澤賢治**」を描き続けて」関連展示(~8/14) **NEW!**
- 3F ブルーゾーン 「此広い世界の劇場~シェイクスピア展~」(~8/12)
 シェイクスピアがこの世の舞台を去ってからちょうど400年。その後の演劇がどのように進化・発展していったのか、比較文化の観点から世界の劇場を通して紹介する展示です。
- 3F ホール 「平和展示会」(8/1~8/12) **NEW!**
 日本核宣言自治体協議会の「原爆写真」を展示します。

わたしの一冊
 『手紙魔まみ、夏の引越し(ウサギ連れ)』
 穂村弘 著

「ゆきずりの誰か」にソフトクリームをねだること、手の甲に蛍光ペンで「早番」の文字を記すこと、愛という言葉を使ってみたくらいという願い。主人公まみのファンタジックで少し危うい日常が魅力的です。生活の中で「これは」と思うドラマチックな瞬間があると、この歌集を開いて彼女に会いたくなります。

小学館文庫 / 2014年
 少女からのファンレターを基にした、穂村弘の現実と虚構が入り混じる歌集。タカノ綾の挿絵が「まみ」の世界を彩る。

ZONE PICK UP! 3F グリーンゾーン 【哲学・歴史・自然科学・技術工学】の本を集めたゾーン

Out Door ~10/14(金)

この展示の期間6月から10月は、夏休みや秋の行楽シーズンがやってくる時期です。しかし、具体的にどこへ行くか、何をしようか、迷っている人も多いのではないのでしょうか。そんな方々へ向けて、「自分の世界を広げてみませんか?」をテーマに、今年新たに祝日となった山の日などを踏まえながら、様々な「アウトドア」をご紹介します。

- 8/11は山の日
登山食
 「**バテない体をつくる 登山食**」
 山登りに必要な栄養と食べ方がわかる。
 大森 義彦 監修 誠文堂新光社 2016年
 登山に必要な栄養素や、山で簡単に作れる登山食レシピを紹介。
- 10/14は鉄道の日
日本おもてなし鉄道
 「**日本おもてなし鉄道 観光列車で楽しむ日本のデザイン**」
 日経デザイン 編 日経BP社 2015年
 景色を楽しみ、地元食材を頂く、クルーズ列車の「おもてなし」の極意が詰まった一冊。

日比谷カレッジ報告
凸凹地図で感じる 東京地形のヒミツ
 講師：塚田 野野子 (株)東京地図研究社代表取締役社長
 佐藤 慧 (株)東京地図研究社企画開発室係長

現在の地形ブームの先駆けとも言える凸凹地図を出版した地図製作のプロを迎え、東京をテーマに取り組んだ地図製作の背景や地形表現、また千代田区周辺を中心に、江戸城などの歴史、インフラ、自然災害といった視点を交えてお話しいただきます。「日々の町を見る目が変わりそう」「地球の歴史が大地に印されている事が良く分かった」などの声がかげられました。

実際の凸凹地図を使った地名当てクイズも。みなさん楽しみながらも真剣です。

額縁からみる絵画 レオナルド・ダ・ヴィンチからゴッホまで
 講師：小笠原 尚司 (額装家)

古代にあった枠の概念の話から始まり、時代によって変わる額縁様式や画家と額縁との関係性について、多くの名画を例に挙げてお話しいただきました。名画については知っていることも、「額縁」については聞いたことも、よく見たこともなかったという方が多い中で、「絵画鑑賞に新しい視点を得た」「絵画の見方が変わりそう」などの感想が多く寄せられました。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

本と過ごす
 日比谷公園の豊かな緑の中に、三角形のユニークな佇まいの日比谷図書文化館。そこは、本を読み、調べる図書館と、歴史や多彩な文化情報を展示するミュージアム、さまざまな講座やイベントを行うカレッジが一体となった複合文化施設です。リラックスできるカフェやダイニングも併設。暑い夏の日を本と一緒に、ゆったり過ごしてみませんか?

知る
 knowledge

「日比谷カレッジ」では、ビジネススキルアップや江戸・東京の歴史文化、アートなど多彩なテーマで、講座やセミナー、ワークショップなどを開催。お申し込みいただければどなたでも参加いただけます。知識が深まり、読書の楽しみも広がります。

学ぶ
 learn

個性的な図書展示が当館の魅力のひとつです。夏休みのレジャーに関する本を集めたコーナーや様々なテーマの企画展示を用意しております。図書フロアを散策すれば、新たな本との出会いが待っています。

【特別研究席】
 4階にある特別研究席は、全席に電源コンセントと無線・有線LANを備え快適なスタディールームとしてご利用いただけます。
 ▶ 利用時間：平日10時~20時、土曜10時~18時、日曜・祝日10時~16時
 ▶ 利用料金：300円/2時間(2時間単位で延長可)

夏休み
 寛ぐ
 relax

【カフェ&ダイニング】館内にあるカフェとダイニングでは図書フロアの本をお持ちいただけます。好きなドリンクを手に、リラックスした読書が楽しめます。

calendar 開館時間：平日10時~22時 ■土曜10時~19時 ■日祝10時~17時 ■休館日

2016年 8月							2016年 9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	

お問合せ先：千代田区立日比谷図書文化館
 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340
 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: <http://hibiyal.jp>

access
 都営地下鉄 ●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
 東京メトロ ●丸ノ内線 ●日比谷線 ●丸ノ内線「日比谷駅」B2出口 徒歩3分
 ●千代田線 ●有明線「日比谷駅」C4出口 徒歩3分
 JR「新橋駅」徒歩10分
 ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

8・9月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

8/1 (月) 世界の音楽 第7回 アイヌの伝統楽器トコリ

講師：千葉 伸彦 (アイヌ音楽研究者)

トコリはアイヌ民族の中でも、北部地方にだけ伝え残されていた伝統的な弦楽器です。シンプルな5弦の堅い木製のボディと、愛の定員に達した為 受付を終了しました。 演奏など、様々な面をみて、トコリの謎、伝承内容、伝承滅失の危機と復元、アイヌ音楽の世界などについて、演奏をまじえてお話しします。(協力：東京音楽大学付属民族音楽研究所)



- 日時：8月1日(月)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：1000円

8/3 (水) 宮澤賢治生誕120年記念 「画本 宮澤賢治」を描き続けて

講師：小林 敏也 (イラストレーター・デザイナー) / 大島 丈志 (文教大学准教授)

独特の世界観で読者を魅了してやまない作家、宮澤賢治。その生誕120年を記念し、宮澤賢治の作品と絵本との関わりや、絵本制作の裏話などについて、装丁やイラストの美しさで知られる「画本宮澤賢治シリーズ」作者である小林敏也氏と「絵本で読みとく宮澤賢治」共編者の大島丈志氏とが語り合います。



雨ニモ負ケズ(「画本 宮澤賢治」小林敏也 画より)

- 日時：8月3日(水)19:00～21:00(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円

8/6 (土) ピースビレッジ 第45回 自律運動による心と体の自己回帰法

講師：Joe Bright (Psychologist Hull University) ナナ・ブライト (臨床心理士 Alliant International University)

従来の2つの自律神経の働きに新たに「社会神経」を加え、人間には三層の危機管理システムを獲得しているという考えがあります。この「社会神経」は私たちが「愛」とか「思いやり」と呼んでいるものです。今回の講座では、この3つ目の新しい神経システムを皆さんに体感していただきます。(主催：NPO法人世界連邦21世紀フォーラム)



- 日時：8月6日(土)14:00～16:30(13:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：3000円

▶参加申込：電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

8/9 (火) HIBIYAイノベーション・キャンパス2016 デザインマネジメントの視点から考える イノベティブ・アクティビティのデザイン

講師：田子 學 (MTDO inc.代表取締役/アートディレクター/デザイナー/ 慶應義塾大学大学院SDM研究科特任教授)

いま企業等でイノベーションの創出を目指した様々な活動が始まっています。このような活動を導入する際に重要となる、イノベティブ・アクティビティのデザインについて、デザインマネジメントの視点から実際の現場での取り組みを通して語ります。(協力：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属SDM研究所イノベティブデザインセンター)



- 日時：8月9日(火)19:00～21:00(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円

8/24 (水) 危機を乗り越えるための 「情報的備え」について学ぼう

講師：島崎 敢 (国立研究開発法人・防災科学技術研究所特別研究員)

事故、災害、犯罪、テロなど、災いはある日突然やってきます。危機を乗り越えるために何を知らなければいけないのか、そして必要な情報をどう収集し、集めた情報をどう評価するかを知っておくことは大切です。物質的な備えに比べて、見落とされがちな情報的備えについて学びます。



- 日時：8月24日(水)19:00～20:45(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：500円

9/2 (金) HIBIYAイノベーション・キャンパス 2016「ワークショップ【初級編】」 イノベティブ思考の基礎的ワークを学ぶ

講師：成田 好孝 (慶應義塾大学大学院SDM研究科 研究員) 広瀬 毅 (慶應義塾大学大学院SDM研究科 研究員) 渡辺 今日子 (慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任助教)

問題をシステムとして捉え可視化・構造化する「システム思考」。多様性を活かし、人間中心で物事を設計する「デザイン思考」。この2つの思考を組み合わせ、アイデアを思い付くだけでなく、考え付くためのイノベティブ思考の基礎的ワークの流れを学びます。(協力：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属SDM研究所イノベティブデザインセンター)



左から、成田 好孝/広瀬 毅/渡辺 今日子

- 日時：9月2日(金)19:00～21:00(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：40名 ■ 参加費：2000円

9/7 (水) 世界史を変えた真珠の話 —オリエントの宝石がもたらした富、狂騒、破壊

講師：山田 篤美 (歴史研究者)

真珠はもともとアジアの海でしか採れない宝石で、西洋が求め続けた富でした。『魏志倭人伝』によれば邪馬台国は真珠の産地。その日本の真珠を求めたコロンブスは南米大陸で真珠を発見。ラス・カサスの『インディアス史』は南米の真珠をめぐる略奪と虐殺を伝えます。古今東西の一次史料を使いながら小さな真珠の壮大で壮絶な歴史を紹介いたします。



「東洋がその財宝をイギリスに献上する」スピリドネ・ローマ作 1778年制作 イギリス東インド会社本部・蔵入委員会室に設置された寓話的天井画 現在はブリティッシュ・ライブラリー蔵

- 日時：9月7日(水)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：1000円

9/14 (水) 三菱一号館の復元 ～蘇った明治期の煉瓦造オフィスビル～

講師：野村 和宣 (株式会社三菱地所設計)

オフィス街「丸の内」の原点である明治期のオフィスビルを、ジョサイア・コンドルらの設計図面や写真資料等に基づいて忠実に復元させた講師が、当時のオフィスビルの建築技術や考え方、そして都市再生の中で歴史的建造物を継承することの意義について語ります。(企画・協力：NPO法人 建築から社会に貢献する会)



- 日時：9月14日(水)19:00～20:45(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円

9/16 (金) 千代田区民講座 日本の動物福祉の問題と動物との共生社会に向けて

講師：西平 衣里 (公益社団法人アニマル・ドネーション代表理事)

先進国の中で、動物に対して発展途上だといわれる日本。ペットたちの置かれている現状と問題点など、先進国との違いを学びます。日本の中では何ができるのか、アニマル・ドネーションとしての取り組みや最新情報もご紹介。動物が好きでなくても人と動物の真の共生のヒントが得られる講座です。(主催：NPO法人 神田雑学大学)



- 日時：9月16日(金)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：無料
- 受付：千代田区民 8月5日(金)～ / 千代田区民以外 8月12日(金)～

9/26 (月) 平家物語、その滅びの美学(全3回) 第1回「滅びの美学とものあはれ」

講師：林 望 (作家)

木曾義仲の挙兵、頼朝の挙兵によって、平家の天下が揺るぎ始める一方、独裁者清盛も、人格者重盛も亡きあとの平家一門が、懦弱な総大将宗盛のもと、音を立てるようにして瓦解してゆく、その有様を仔細に読みながら、しかし、そのなかで、この物語がどれほど「滅んでゆく者」に対して、深い文学性を以て語り続けていくか、その一人一人のヒューマニティを検証してみたい。(主催：上廣倫理財団)



- 日時：9月26日(月)18:30～20:00(18:00開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：500円(千代田区民・学生無料)
- ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

9/28 (水) お江戸ほーりー文化講座④ 江戸は大変?! ～八百八町の災害と復興～

講師：堀口 菜純 (文化人、タレント)

お江戸(江戸)にくわしすぎるアイドル!?)ほーりーこと、堀口菜純による「文化講座」第4弾!地震に火事、水害に噴火などありとあらゆる災害に見舞われた江戸の町。しかし復興は意外にも早かった。幕府や庶民の対応を、浮世絵など用いて解説。(主催：株式会社ネットアドバンス)



- 日時：9月28日(水)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：60名 ■ 参加費：1000円

9/29 (木) 四字熟語ってすごい! ～小説家のことばの力～

講師：日満 宇二郎 (漢和辞典編集者)

たった四文字の漢字の中に、深い内容をたたえた四字熟語。そのストレートで簡潔な表現の背後には、秘められた意味や、古くから伝わる中国の物語などが広がっています。太宰治や永井荷風といった小説家が作品中で用いた例を見ながら、四字熟語の持つ「ことばの力」について考えてみましょう。



- 日時：9月29日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：60名 ■ 参加費：1000円

予告 日比谷図書文化館 特別展 江戸からたどるマンガの旅 ～鳥羽絵・ポンチ・漫画～

江戸中期を出発点にし、鳥羽絵から始まり、ヒットメーカー歌川国芳、幕末・明治の河鍋暁斎などの人気浮世絵師が描いた戯画や、明治・大正期の作品、さらに昭和初期の漫画雑誌まで、京都国際マンガミュージアム所蔵の貴重なコレクションにより、約230年を旅し、現代のマンガへいたる流れをたどります。

- 会場：1階 特別展示室 ■ 期間：2016年9月17日(土)～11月16日(水) ※詳しくは、次号で紹介いたします。

特別研究室 ミニ通信

◆特別研究室企画展示◆ 『開国五十年史』に見る明治日本の国づくり自己評価 — 思想・文化・教育編 — ▶9月18日(日)まで開催中 開国以来50年の日本の進歩を広く海外に発信すべく、大隈重信によって編纂された『開国五十年史』を紹介する本展示。後期は思想、学術や文化、風俗の変遷などの分野の章の内容と執筆者の事跡を紹介しています。あわせて、『開国五十年史』を読むにあたり参考になる日比谷図書文化館所蔵本も展示しています。

関連講座 古書で紐解く近現代史セミナー第21回 「女子を人として、婦人として、国民として教育する」

～明治期女子教育に対する成瀬仁蔵の想い～

講師：小林基男 (柿生郷土史料館専門委員)



- 日時：9月1日(木)19:00～20:30(18:30開場)

古書で紐解く近現代史セミナー第22回 日本の化学研究を拓いた科学者 ～理研創設者・櫻井錠二が遺したもの～

講師：若林文高 (独立行政法人国立科学博物館理工学研究部長)



- 日時：9月8日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：1000円(区民・学生500円)

◆ポモーヌ広報室より◆

夏の夜、どこからともなく聞こえてくる盆踊りの音は日本の風物詩の1つです。様々な盆踊りの曲がある中でもよく知られている「東京音頭」は、昭和7年に丸の内界隈の地名を入れて出来た「丸の内音頭」が始まりです。毎年、日比谷公園で行われる盆踊り大会では「丸の内音頭」とともに多くの人が踊りの輪をつくります。会場では日比谷図書文化館の「うちわ」*もお配りしていますので、都会の真ん中で踊りの輪に加わってみませんか。 ※数に限りがあります。

- ▶日時：2016年8月26日(金)27日(土) 18時～21時(小雨決行)